

東大和市健康増進計画
平成28年度実施状況報告書



東京
ゆったり日和
東やまと

東大和市健康増進計画 基本理念

生涯にわたって
健康でいきいきと
豊かな人生を
おくれるまち
東大和

はじめに

東大和市は、市民の皆様が心身ともに健康でいきいきとした豊かな生活を送ることを目指して、平成27年3月に「東大和市健康増進計画」（以下「計画」という。）を策定し、その基本理念を「生涯にわたって 健康でいきいきと豊かな人生をおくれるまち 東大和」として、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を総合目標に掲げ、市全体で健康づくりに関連する様々な施策に取り組んでいます。

このたび、作成した本報告書は、計画第5章第3節「計画の進行管理（計画の評価と見直し）」に基づく年次報告書として、平成28年度に実施した各施策の具体的な事業実績をまとめたものです。

これらの事業実績を踏まえ、計画に掲げた各事業の着実な推進と充実を図り、計画の本旨に沿い、市民の皆様が活力のある豊かな生活を送ってくださるようさらなる健康増進の推進に向け取り組んでまいります。

平成30年3月



～目 次～

I	計画の概要	1
II	評価指標の関連基本データ	6
III	実施状況調査	7
1.	各分野ごとの各部別事業数	7
2.	各分野ごとの評価結果	8
3.	実施状況調査結果の概要	9
4.	地域福祉審議会 答申[抜粋]	1 1
5.	実施状況調査結果	
	第1節 生活習慣の改善と推進	
1	栄養・食生活、食育の推進[分類番号1-①]	1 2
2	身体活動・運動[分類番号1-②]	1 3
3	休養[分類番号1-③]	1 5
4-1	飲酒[分類番号1-④-1]	1 6
4-2	喫煙(3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)[分類番号1-④-2]	1 7
5	歯と口の健康づくり[分類番号1-⑤]	1 8
	第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備	
1	こころの健康・働く世代の健康づくり[分類番号2-①]	1 9
2	次世代の健康・母子保健対策の推進[分類番号2-②]	2 1
3	高齢者の健康[分類番号2-③]	2 7
4	社会環境整備[分類番号2-④]	3 1
	第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防	
1	がん対策の推進[分類番号3-①]	3 3
2	糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進[分類番号3-②]	3 4
3	循環器疾患の対策[分類番号3-③]	3 6
4	「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策[分類番号3-④]	3 7

I 計画の概要

1. 東大和市健康増進計画について

本計画は、健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」であり、食育基本法に定める「市町村食育推進計画」、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」を包含し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指して計画期間を平成 27 年度から平成 32 年度までの 6 年間としています。

2. 計画の体系

(1) 概要

「生活習慣」「ライフステージ」「発症予防と重症化予防」の三つの分野から構成されています。

分野別目標

施策

1 生活習慣の 改善と推進

- ・ 1 栄養・食生活、食育の推進（食育推進計画）
- ・ 2 身体活動・運動
- ・ 3 休養
- ・ 4 飲酒・喫煙（COPDの対策含む）
- ・ 5 歯と口腔の健康づくり

2 ライフステージ を通じた健康づくり と健康を支える 社会環境の整備

- ・ 1 こころの健康・働く世代の健康づくり
- ・ 2 次世代の健康：母子保健対策の推進（母子保健計画）
- ・ 3 高齢者の健康
- ・ 4 社会環境整備

3 主な生活習慣病 の発症予防と 重症化予防

- ・ 1 がん対策の推進
- ・ 2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- ・ 3 循環器疾患の対策
- ・ 4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策

(2) 分野ごとの施策目標と取り組み（役割の分担）

①生活習慣改善の推進—五つの重点項目から構成されています。

1 栄養・食生活、食育の推進 東大和市食育推進計画

- ・食生活に関する知識の普及・促進に努めます
- ・健康的な食生活を実践しやすい環境の整備を進めます。
- ・食の安全・安心につながる正しい情報提供を図ります。
- ・全校食育授業を実施します。

2 身体活動・運動

- ・身体活動（生活活動・運動）に関する普及啓発に努めます。
- ・身体活動をしやすい環境の整備に努めます。
- ・生活習慣病対策との連動の促進、情報提供に努めます。
- ・子どもの望ましい生活習慣について、子どもと保護者への普及啓発に努めます。
- ・子どもが望ましい生活習慣を身に付けられる環境の整備に努めます。
- ・運動に親しむ取組を推進し、1校1運動や学校間運動交流の実施に努めます。

3 休養

- ・適切な睡眠の意義や睡眠のとり方の普及啓発に努めます。
- ・余暇活動の充実を推進します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基礎的な生活習慣の確立に努めます。
- ・家庭と協力して、適切な睡眠が取れるように努めます。

4-1 飲酒

- ・飲酒が及ぼす健康への影響について普及啓発します。
- ・未成年、妊婦・授乳中の女性への飲酒防止を推進します。
- ・相談体制の整備を図ります。
- ・未成年者の飲酒禁止と、飲酒が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。

4-2 喫煙 （「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）

- ・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。
- ・禁煙しやすい環境の整備を図ります。
- ・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。
- ・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。

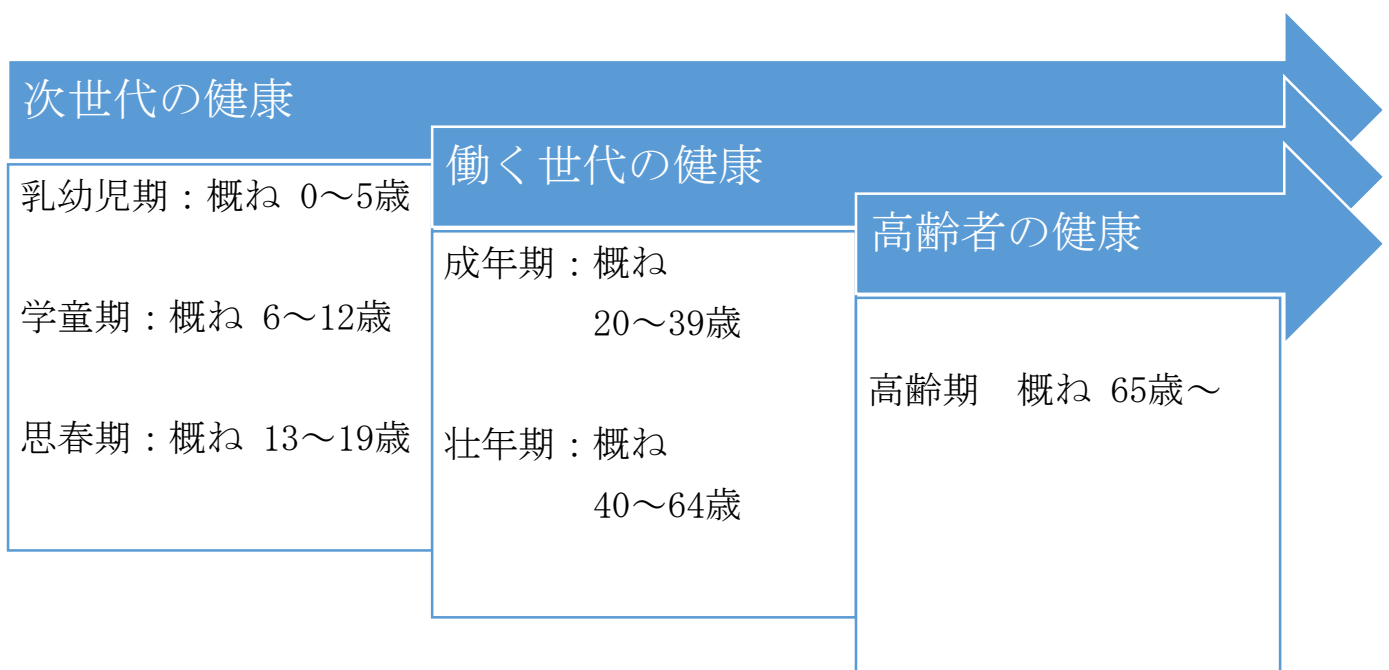
5 歯と口腔の健康づくり

- ・切れ目ない子どもの歯科保健の充実を図ります。
- ・成人歯科保健の充実を図ります。
- ・高齢者・障害者の歯科保健の推進を図ります。
- ・かかりつけ歯科医の推進を図ります。
- ・正しい口腔ケアを指導し、習慣付けます。
- ・歯と口腔の健康が、全身の健康と密接に関わっていることを教育活動を通して普及啓発に努めます。

② ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

1 こころの健康・働く世代の健康づくり	2 次世代の健康 母子保健対策の推進 東大和市母子保健計画	3 高齢者の健康	4 社会環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ・ストレス対処法等の知識の普及啓発に努めます。 ・こころの健康づくりを支える体制づくりの推進を図ります。 ・こころの健康づくりにつながる地域活動の支援の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実を図ります。 ・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実を図ります。 ・子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進を図ります。 ・子育て中の親への支援体制の整備（育てにくさを感じる親に寄り添う支援）を図ります。 ・児童虐待発生予防対策の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりの普及啓発をします。 ・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりに取り組みやすい環境の整備の推進を図ります。 ・介護予防事業等によって地域の高齢者の健康状況等を把握し、実情に応じた事業を実施します。 ・（東大和市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき実施します。） ・高齢社会に対する教育の一環として、高齢者との交流の推進に努めます。 ・生涯にわたって健康な生活を送れるよう、進んで運動に取り組む教育を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりと健康状態が関係することについて、普及啓発を行います。 ・地域のつながりを醸成します。 ・地域活動に健康づくりの視点を入れ、活動を支援します。 ・児童・生徒や教職員の地域行事への参加や地域住民の学校活動への参加を通じて、地域のつながりを醸成します。

3 区分のライフステージで構成されています。



③ 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防 - 4 疾病で構成されています。

1 がん対策の推進	2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進	3 循環器疾患の対策	4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策
<ul style="list-style-type: none">・がん予防に関する正しい知識を普及します。・がん予防に取り組みやすい環境を整備します。・がん検診等を実施し、受診率と検診の質を向上させます。・健康教育をより一層充実するとともに、望ましい生活習慣の育成に努めます。	<ul style="list-style-type: none">・糖尿病・メタボリックシンドロームを予防する生活習慣などに関する知識を普及します。・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。・特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者医療健康診査を実施します。・健康に対する関心を高め、主体的に健康を保持・増進する態度を養います。	<ul style="list-style-type: none">・循環器疾患を予防する生活習慣に関する知識を普及します。・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。・早期発見・早期治療のために成人健康診査を実施します。・「生活習慣チェックリスト」や「自己点検表」などを作成し、子ども自身が進んで生活習慣を改善できる資質・能力を育成していきます。・養護教諭や学校医等が中心となって学校全体で生活習慣の改善が促進されるよう取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣の改善の推進4－2喫煙に準じます。・<再掲>・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。・禁煙しやすい環境の整備を図ります。・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。

3. 計画の基本理念

「東大和市健康増進計画」の基本理念は、WHO（世界保健機関）が提唱した「ヘルスプロモーション」の考えた方に立って定められています。

ヘルスプロモーション：WHO（世界保健機関）が1986年のオタワ憲章において提唱した21世紀の健康戦略です。「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されています。「すべての人々があらゆる生活舞台で健康を享受することのできる公正な社会の創造」を健康づくり戦略の目標としています。

目標実現のための活動方法として、「健康な公共政策づくり」、「健康を支援する環境づくり」、「地域活動の強化」、「個人技術の強化」、「ヘルスサービスの方向転換」を柱としています。活動の大きな特徴は、「住民や当事者の主体性を重視していること」、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えること」に重点がおかれています。

<参考資料：地域における健康日本21実践の手引きより>

4. 計画の目標数値の設定

総合目標を達成するため、分野ごとに指標となる数値を設定しました。
数値は、国や都が策定した関連計画の目標値を原則としました。



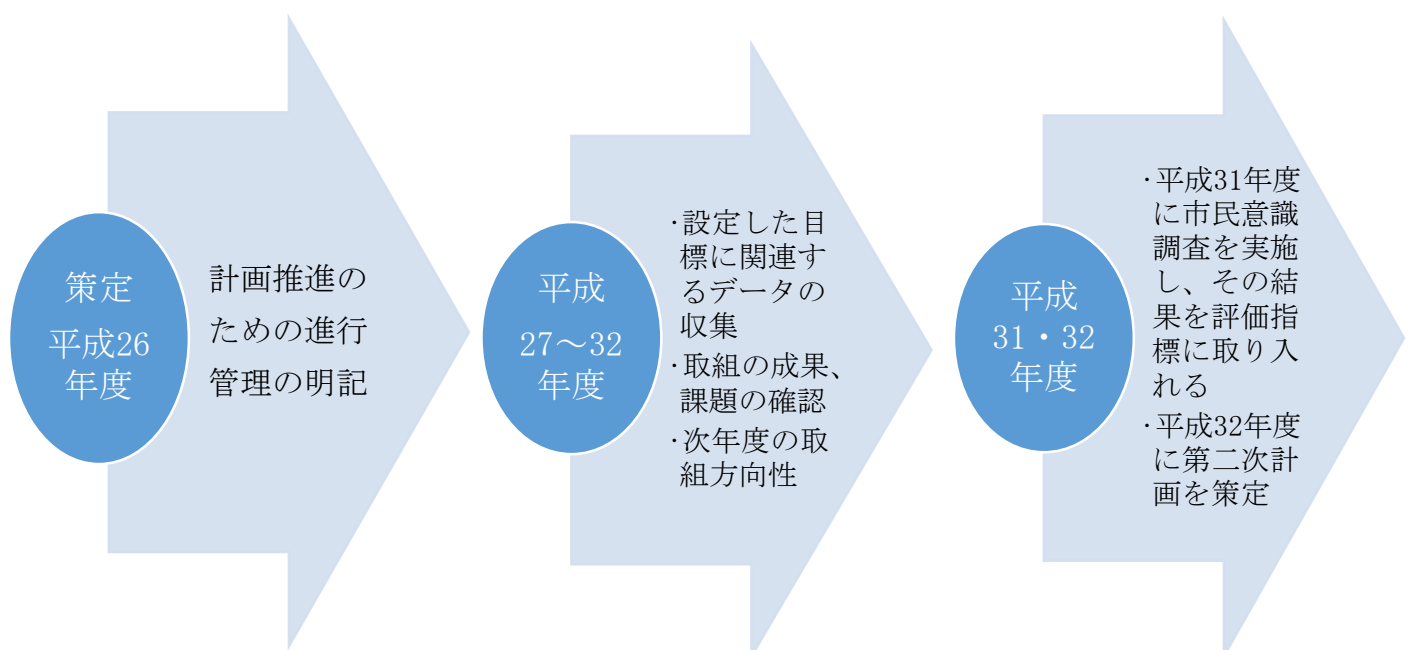
施策の目標

市民意識調査結果や各種統計資料から抽出した健康課題に対応する内容としました。



5. 計画の進行管理

健康づくりに関連した施策の推進を図るとともに、各年度の事業の実績・進捗について、地域福祉審議会に、報告し、意見を聴き、計画の進行管理や評価を行います。



II 評価指標の関連基本データ

北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年度版

(単位:人)

1		H29/1/1	H28/1/1	H27/1/1	H26/1/1
	人口	85,945	86,101	86,162	85,297
	世帯	38,291	37,966	37,742	37,108

2		0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～	
	年齢構成比	H29/1/1	13.4%	60.8%	25.8%
		H28/1/1	13.5%	61.2%	25.3%
		H27/1/1	13.5%	61.9%	24.6%
		H26/1/1	13.7%	62.4%	23.9%

(単位:人、%)

3		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	出生数	792	682	680	762
	合計特殊出生率	1.67	1.37	1.40	1.54
	低出生体重児率	8.7	8.2	10.6	10.4

(単位:歳)

4		A		B		
		男	女	男	女	
	65歳健康寿命	H26年度	83.0	86.0	81.4	82.8
		H25年度	82.6	85.6	81.3	82.7
		H24年度	82.5	85.5	81.3	82.8

※Aは「要介護2以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

※Bは「要支援1以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

(単位:歳)

5		男	女	
	平均寿命	H26年度	80.8	86.9
		H25年度	80.5	86.2
		H24年度	80.1	86.0

(単位:人・%) ※千分率

6		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	死亡数	771	668	685	697
	死亡率	9.2	7.8	8.2	8.3

標準死亡比(平成26年)	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	心疾患	脳血管疾患
基準集団: 男	46.8	78.3	100.0	/	/	81.9	106.4
東京都(100) 女	88.6	108.3	103.9	132.1	70.5	90.8	116.4

7		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	特定健康診査受診率	52.4%	52.2%	51.4%	50.5%
	保健指導実施率	11.3%	19.0%	8.0%	8.5%
	健康診査受診率(特定健診除く)	31.2%	29.4%	28.5%	27.5%

(単位:件)

8		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	妊娠届出数	-	797	689	684
	新生児訪問	683	622	/	/
	児童相談所受理件数	173	168	140	135

(単位:千円)

9	特別会計当初予算	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
	国民健康保険	10,919,443	9,621,668	9,470,231	8,946,963
	後期高齢者医療	1,736,012	1,641,762	1,553,864	1,478,697
	介護保険	5,444,247	5,390,594	4,717,585	4,297,139

※各分野ごとのページに掲載しているデータは「北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年版(東京都多摩立川保健所編集・発行)」から抜粋しています。

Ⅲ 実施状況調査 1. 各分野ごとの各個別事業数

分野別 目標	施策	部	企画財政部	市民部	総務部	福祉部	子ども生活部 (子育て支援部)	環境部	都市建設部	学校教育部	社会教育部	その他	計		
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進			1		5							6		
	2 身体活動・運動			2		2	2			3	3		12		
	3 休養					1							1		
	4-1 飲酒					1							1		
	4-2 喫煙					1							2		
	(3-④)「COPD」慢性閉塞性 肺疾患対策を含む)					1						1	2		
	5 歯と口の健康づくり					6							6		
	第2節 健康イフラス 社会環境の整備	1 こころの健康・ 働く世代の健康づくり			1	4	5	1			2	3		16	
		2 次世代の健康・ 母子保健対策の推進			1		17	12			8	3		41	
		3 高齢者の健康			3		15					4		22	
		4 社会環境整備			3		6		2			2		13	
		第3節 予防生活習慣 重症化病予防	1 がん対策の推進					2							2
			2 糖尿病・ メタボリックシンドローム予防 対策の推進			3		4			1				8
			3 循環器疾患の対策					1							1
			4 「COPD」 慢性閉塞性肺疾患の対策 (再掲)					1						1	2
	計		0	14	4	67	15	2	1	13	15	2	133		

Ⅲ 実施状況調査 2. 各分野ごとの評価結果

分野別 目標	施策	結果	事業数	3 順調	2 概ね順調	1 着手	0 未着手	住民や当事者の主体性を重視した	各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進		6		5	1		4	1
	2 身体活動・運動		12	5	5	2		5	6
	3 休養		1			1		1	
	4-1 飲酒		1		1			1	
	4-2 喫煙 (3-④「COPD」慢性閉塞性 肺疾患対策を含む)		2	1	1			1	1
	5 歯と口の健康づくり		6	1	5			4	2
	小計		28	7	17	4		16	10
第2節 健康的な生活環境の整備を支援した	1 こころの健康・働く世代の健康づくり		16	10	6			5	13
	2 次世代の健康・母子保健対策の推進		41	23	17	1		16	23
	3 高齢者の健康		22	15	7			5	14
	4 社会環境整備		13	1	12			7	7
	小計		92	49	42	1		33	57
第3節 生活習慣病予防の推進	1 がん対策の推進		2		2			2	
	2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進		8	2	5	1		4	4
	3 循環器疾患の対策		1			1		1	
	4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策(再掲)		2	1	1			1	1
	小計		13	3	8	2		8	5
	計		133	59	67	7		57	72

3. 実施状況調査結果の概要

平成28年度の実施事業については、平成27年度実施状況調査報告に基づき、東大和市健康増進計画の基本理念は、WHO（世界保健機関）が提唱した「ヘルスプロモーション」の考えた方に立って定められていることから、各事業の検証・修正・企画・実施における、ヘルスプロモーションの視点を追加し、関係各課を対象に行った。

(1) 調査結果表の見方：分類番号は、下記一覧の中から該当する主目的を各課が選択

- 1-①： 栄養・食生活、食育の推進
- 1-②： 身体活動・運動
- 1-③： 休養
- 1-④-1： 飲酒
- 1-④-2： 喫煙
- 1-⑤： 歯と口の健康づくり
- 2-①： こころの健康・働く世代の健康づくり
- 2-②： 次世代の健康・母子保健対策の推進
- 2-③： 高齢者の健康
- 2-④： 社会環境整備
- 3-①： がん対策の推進
- 3-②： 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- 3-③： 循環器疾患の対策
- 3-④： 「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策

・評価については、実施状況について各課が下記から選択

(第3次東大和市障害者計画・第4期東大和市障害福祉計画と評価の基準を合わせた)

3：順調

2：おおむね順調

1：着手

0：未着手

・新規項目として「ヘルスプロモーション」の視点の有無について各課が選択

<視点及び回答>

1や2に該当する視点がある場合は、該当する数字に○、ない場合は、3に○

1 住民や当事者の主体性を重視した

2 各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた

(2) 各分野ごとの各部別事業数

①「第1節 生活習慣の改善と推進」

- ・市民部、福祉部、子ども生活部(子育て支援部)、学校教育部、社会教育部の5つの部において28の関連事業が実施されていた。
- ・最も多い項目は「身体活動・運動」の12事業で、5つの部すべてにおいて事業が実施されていた。
- ・次いで多い項目は「栄養・食生活、食育の推進」の6事業であり、市民部、福祉部において実施されていた。
- ・その他の項目は、福祉部で実施されていた。

②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」

- ・事業実施数は、全分野を合わせた133の全ての事業のうち、最も多い92事業が実施され、69.2%を占めていた。
- ・企画財政部と都市建設部を除いた各部において、関連事業が実施されていた。
- ・92事業のうち、担当部署ごとの事業実施数は、福祉部の43事業が最多で、次いで子ども生活部(子育て支援部)の13事業、社会教育部の12事業、学校教育部の10事業となり、4つの部でそれぞれ二桁以上の事業が実施されていた。
- ・事業のうち、最も多い項目は「次世代の健康・母子保健対策の推進」の41事業であり、市民部、福祉部、子ども生活部(子育て支援部)、学校教育部、社会教育部の5つの部において実施されていた。
- ・次いで多い項目は「高齢者の健康」の22事業で、市民部、福祉部、社会教育部の3つの部において実施されていた。
- ・「こころの健康・働く世代の健康づくり」は16事業、「社会環境の整備」は13事業となっており、総務部では、「こころの健康・働く世代の健康づくり」の関連事業が、環境部では「社会環境の整備」の関連事業が実施されていた。
- ・市民部、福祉部、社会教育部では、4つの項目全てにおいて、関連事業が実施されていた。

③「第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防」

- ・市民部、福祉部、都市建設部の3つの部において、13の関連事業が実施されていた。3つの部すべてにおいて、「糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進」の関連事業が実施されていた。

(3) 各分野ごとの評価結果

①「第1節 生活習慣の改善と推進」

- ・28の関連事業のうち、「2概ね順調」が17事業と最も多く、ついで「3順調」が7事業であった。

- ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、16事業で「住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、10事業において、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。
- ②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」
- ・92の関連事業のうち、「3順調」が49事業と最も多く、ついで「2概ね順調」が42事業であった。
 - ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、33事業で「住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、57事業において、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。
- ③「第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防」
- ・13の関連事業のうち、「2概ね順調」が8事業と最も多く、ついで「3順調」が3事業、「1着手」が2事業であった。
 - ・ヘルスプロモーションの視点の有無については、8事業で「住民や当事者の主体性を重視した」視点が入り入れられており、5事業において、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えた」取り組みが事業内容に含まれていた。

4. 地域福祉審議会 答申[抜粋]

実施状況報告については、計画の基本理念とされている「ヘルスプロモーション」の評価が加わり、一定の充実が図られており、今後も平成32年度の目標達成に向けて適切な事業管理を行い、取組内容の充実を図ってください。

実施事業の評価は、開催回数や参加人数などの数値のみではなく、いかに取り組んだか、という手段の工夫や、どのような効果があったかなど事業の検証についても評価に含めてください。

事業の参加者の地域ごとの割合など、データ収集の難しさを踏まえた上で、地域の特性の分析について検討してください。

健康づくりは、「予防」が重要であることから、正しい知識の普及啓発のため、事業名、他のイベントとの同時実施、開催場所の工夫などにより、まずは利用の促進を図り、また、計画の基本理念と取組み方針の情報提供の機会を設けることについて検討してください。

5. 平成28年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

評価の基準	3: 順調
	2: 概ね順調
	1: 着手
	0: 未着手

※評価の基準の表記は、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

1・2・3のどれかに○、または1と2の二つに○がつきます。

1 栄養・食生活、食育の推進【分類番号1-①】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモーション	担当課
1-① 1	農業振興対策・体験事業	市民に農作物の収穫等を体験してもらうことにより、農業及び農作物への関心及び理解を一層深め、もって都市農業や地産地消の推進を図った。 参加者合計343人	参加者と農業者の交流を図り、また健康課栄養士による食育に関する講義を行うなど、安心安全な食に関する意識の啓発を図ったため。	1 ・ 2 ・ ③	産業振興課
1-① 2	離乳食講習会 幼児食講習会	乳幼児期の食事のあり方や栄養についての知識の普及を図った。 離乳食講習会 22回 参加者257人 (個別相談 72件) 幼児食講習会 3回 参加者48人 (個別相談 13件)	乳幼児の保護者対象に離乳食・幼児食講習会を実施し、栄養バランスや生活リズム、生活習慣病予防について健康教育を行い、また、希望者へ個別相談を実施したため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 3	親子料理教室	小学生と保護者対象に実施 2回実施 参加者数41人	旬の食材を使った料理教室を開催し、規則正しい生活リズムと栄養バランス等親子の食育の啓発を図ったため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 4	生活習慣病 予防教室	①生活習慣病予防教室 年2回 延28人	参加者が全体的に少なく、新規の参加者・若年層参加者への周知等の工夫の必要があるため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 5	食育推進事業	幅広い食育をテーマにした教室を実施した。 4回実施 参加者数 44人	食育に関して幅広くテーマを設定し、外部講師による教室事業を実施したため。成人対象回では若年層(30~40代)の参加者を増やしていきたい。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-① 6	食育 ネットワーク 会議	年3回開催 主な内容： ①健康のつどい 「食育推進コーナー」について ②平成29年度の取り組み内容について	多様な分野が連携し情報交換を行った。また、健康のつどい「食育推進コーナー」の実施内容検討を行ったため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進 2 身体活動・運動【分類番号1-②】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
1-② 1	観光推進事業 うまかんべ～ 祭「うまかん べ～ウォーキ ング」	平成28年度も西武鉄道と多摩都市モ ノレールとの共催、また、うまかん べえ～祭と同時開催でウォーキング イベントを実施した。	3 平成28年度についても、う まかんべえ～祭と同時開催 で実施し、1,582人の参加 者があった。	1 ・ 2 ・ ③	産業 振興課
1-② 2	スイーツ ウォーキング	市内を東西2つのコースに分け、各 コース約9kmの道のりを市内にある スイーツ（和洋菓子パン等）取扱店 を巡りながら当市の魅力を再発見し てもらうウォーキングを実施した。	3 平成28年度についても、市 内を2コース制にし各300人 （計600人）の定員とし実施 し、計555人の参加があっ た。	1 ・ 2 ・ ③	産業 振興課
1-② 3	児童館運営事 業 ・クラブ活動	各児童館において、小学生を対象に クラブ活動を実施した。 総クラブ数4事業 参加延べ人数1,256人	2 児童に運動等の機会を提供 することができたため。 さらなる参加数の増と内容 を充実させたい。	1 ・ 2 ・ ③	青少年 課
1-② 4	児童館運営事 業 ・各種行事	各児童館において、地域の団体やボ ランティアの協力を得ることも努 め、季節に沿った行事などを実施し た。 総行事数94件 参加延べ人数8,559人	2 児童に気軽に児童館活動に 参加してもらうことができ たため。 さらなる参加者数の増と内 容を充実させたい。	1 ・ 2 ・ ③	青少年 課
1-② 5	学校行事 ・部活動等運 営支援事業 ・第41回中学 校体育大会	市内中学校部活動（バトミントン、 ソフトテニス、卓球、バスケット ボール、野球、サッカー、バレー ボール、硬式テニス）の大会を支援 した。	3 それぞれの部活動の練習成 果を発揮する場、また同じ スポーツをする生徒の交流 の場となるなど、大会は、 それに参加する生徒の心身 の成長の一助となっている ため。	1 ・ ② ・ 3	指導室 （教育 指導 課）
1-② 6	学校行事 ・部活動等運 営支援事業 ・第8回中学生 「東京駅伝」 大会	都立東大和高等学校の陸上部と合 同練習を行うなど、市内中学校から 選抜された選手を、東京駅伝の練習 及び参加について支援した。	3 平成28年度は、大会に向け 高校陸上部と合同練習をす るなど、高い意識を持った 練習を行い、大会に臨むこ とができたため。	1 ・ ② ・ 3	指導室 （教育 指導 課）
1-② 7	子どもの体力 向上推進事業	希望する小学校において体力向上・ 運動習慣定着を目指す特別授業（走 り方教室等）を実施した。	3 家庭でもできる運動を取り 入れ、体を動かすことへの 関心や意欲を高めることが できた。	1 ・ ② ・ 3	指導室 （教育 指導 課）
1-② 8	スポーツ推進 委員活動事業	東大和市におけるスポーツの推進に 係る体制の整備を図るため、熱意と 能力のある委員により様々なスポー ツ活動が実施された。	2 市内の多くのスポーツイベ ントで、委員の能力が発揮 されて、スムーズな運営に 貢献しているため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 9	スポーツ振興 事業	市民の間にスポーツを振興し、あわ せて健康増進・体力向上及び相互交 流を図るため、様々なスポーツ活動 を実施した。	2 多くのイベントを開催して いるが、特にふれあい市民 運動会では、多世代交流、 地域交流も行われ、2,000 人を超える参加があったた め。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課
1-② 10	体育施設運営 事業	市内の各運動施設の管理運営を行っ ている。一部施設については指定管 理を行った。	2 多くのスポーツをしたい市 民に対し、場と機会の提供 を行なっているため。	① ・ ② ・ 3	社会 教育課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
1-② 1 1	いきいき ヘルシー教室	いきいきヘルシー教室 年2回 延48人	1 市民の関心のあるテーマ等 を設定しているが、参加者 数は横ばいであるため、今 後、工夫が必要である。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-② 1 2	骨粗鬆症検診	対象者：40～70歳の5才節目の女性 受診者数 134人	1 受診者数が定員を下回って いるため、受診勧奨の工夫 を行う必要がある。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

3 休養【分類番号1-③】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
1-③ 1 新規	女性の生き生き健康教室	女性の心身の健康づくりのための教室において、足指力測定、運動実技とともに、保健師による睡眠（休養）についての講話を行った。年1回 16人	1 平成28年度から睡眠（休養）についての講話を取り入れたため。 今後も継続していく。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

4-1 飲酒【分類番号1-④-1】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
1-④ -1 1	普及啓発・情 報提供	妊娠届出時に妊婦の飲酒状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の飲酒割合 時々飲む15.9% 飲む 3.7%	2 アンケートを用いた状況把 握を行い、飲酒の健康へ及 ぼす影響について普及啓発 を行っているため。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

4-2 喫煙（3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）

【分類番号1-④-2】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
1-④ -2 1	妊娠育児期間 及び乳幼児 学童への たばこ対策	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の喫煙割合 吸う 1.4%	2 アンケートを用いた状況把握 を行い、たばこの健康へ 及ぼす影響について本人及 び家族全体を見据えた普及 啓発を行っているため。 妊婦の喫煙率は減少傾向で ある。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-④ -2 2	建物内におけ る禁煙	施設等における禁煙を実施した。 禁煙の表示を行った。	3 市の行政建物内における禁 煙を全施設で実施できた。 (分煙を含む)	1 ・ ② ・ 3	施設管 理 各課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第1節 生活習慣の改善と推進

5 歯と口の健康づくり【分類番号1-⑤】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年版>

乳幼児健診		H27年度	
1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
う蝕有病率	一人当たりむし歯数	う蝕有病率	一人当たりむし歯数
1.6%	0.04	14.5%	0.44

小中学生				H27年4月1日から6月30日までの健康診断結果による			
小学校				中学校			
被患率	未処置者率	被患率	未処置者率	被患率	未処置者率	被患率	未処置者率
57.21%	33.07%	61.48%	22.62%				

中学校第1学年 DMFT指数(1人平均むし歯経験数) 各年4月1日から6月30日までの健康診断結果による			
H27年	H26年	H25年	H24年
1.57	1.32	1.21	1.53

歯周疾患検診				H26年度	
受診者数	要精検者数	要指導者	異常を認めず		
361	330	16	15		

※う蝕とはむし歯のことです。データ集掲載の用語のまま転載しています。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモ ーション	担当課
1-⑤ 1	妊婦歯科 健康診査	希望者に健診票を発行し、市内指定 歯科医療機関で実施した。 受診者数 197人	2 妊娠届出者(妊婦)数に対 して、受診者数が少ないた め。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 2	母子保健事業 歯科相談	むし歯予防教室 年6回 延141人 歯科健康診査 年29回 保健指導 延382人 歯科予防処置 年32回 延209人 歯科卒業教室 年6回 延74人	3 予定数の利用があるため、 今後も継続する。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 3	歯周病予防 講演会	年1回開催 「知っていますか?口内フローラ~ お口の善玉菌を増やそう」 受講者数 20人	2 幅広い年代への普及啓発を 図るため、若年層の受講者 数を増やしたい。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 4	歯周疾患検診	対象者:40.50.60.70歳の市民 受診者数:299人	2 定員に対して受診者数が少 ないため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
1-⑤ 5	歯科医療連携 事業	訪問歯科診療を推進した。 新規相談件数 34件	2 継続的に訪問診療は続けて おり、各介護施設等に積極 的にPRし、新規相談件数 が前年を上回ったため。	1 ・ ② ・ 3	健康課
1-⑤ 新規 6	歯科衛生指導 職員派遣	2-②14及び2-②36におい て、市内の保育園から依頼を受け、 歯科衛生指導(歯みがき指導等)を 市の歯科衛生士が実施している。 依頼数14件 参加人数713名	2 近年、保育園からの依頼が 増加傾向にあるため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

1 こころの健康・働く世代の健康づくり【分類番号2-①】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年版>

年代別自殺件数・自殺死亡率

平成27年人口動態統計から

総数		男		女		年代別件数			
件数	人口10万対死亡率	件数	人口10万対死亡率	件数	人口10万対死亡率	10~29	30~49	50~69	70以上
16	19.00%	12	28.90%	4	9.40%	5	0	9	0

※評価の基準の表記は、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

1・2・3のどれかに○、または1と2の二つに○がつきます。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルスプロモーション	担当課
2-① 1	メンタルヘルス研修	職員の心の不調の予防とケアに対する取り組みの一環として、メンタルヘルス研修を実施した。 受講者数：54人	3 職員のメンタルヘルスに対する理解を深めることができたため。	① ・ ② ・ 3	職員課
2-① 2	健康管理	職員等の定期健康診断、胃検診、VDT検診、大腸がん検診、採用時健診、特定保健指導等を実施した。 受診者数合計：935人	3 職員等の健康管理を適正に実施することができたため。	① ・ ② ・ 3	職員課
2-① 3	メンタルヘルス対策事業	臨床心理士によるメンタルヘルス相談を実施した。実施回数：36回 利用人数：81人 ストレスチェックを実施した。受検者数：613人	3 職員のメンタルヘルス対策を適正に実施することができたため。	① ・ ② ・ 3	職員課
2-① 4	職場環境整備	産業医による職場巡視を実施した。実施回数：10回 衛生委員会を開催した。開催回数：8回	3 職員環境を適正に維持するため、職場巡視と衛生委員会を実施することができたため。	1 ・ ② ・ 3	職員課
2-① 5	国民健康保険事業 結核・精神医療給付事業	感染症の予防及び感染症の患者に関する法律及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第58条自立支援医療制度（精神通院）にかかる医療費の自己負担分を支給した。件数：6,258件	3 当該被保険者からの申請により的確に事務を行っているため。	1 ・ 2 ・ ③	保険年金課
2-① 6	福祉事務所 嘱託医	一般医及び精神科医による、生活保護医療要否意見の審査等を実施した。 H28審査日数 一般医：51日 精神医：24日	3 審査体制は現状では過不足なし。必要に応じて助言等を求めるなどの体制も構築できているため	1 ・ ② ・ 3	生活福祉課
2-① 7	法外援護事業 ・健康支援	健康管理器具の購入費支給等を実施した。 H28利用世帯：1世帯	2 必要に応じた対応を行っているが、まだ制度周知についての余地はあるため。	1 ・ ② ・ 3	生活福祉課
2-① 8	生活保護費支出 ・医療扶助	被保護世帯に対する、原則的に無料な医療等の提供をした。 H28医療扶助費：1,457,499千円	2 必要な医療を提供することができているが、他法活用など適正化に関する部分にはまだ推し進める余地があるため。	1 ・ ② ・ 3	生活福祉課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-① 9	中国残留邦人 等生活支援 給付・支出 状況 医療支援、 出産支援	中国残留邦人支援世帯に対する、原則的に無料の医療等の提供をした。 H28医療支援費：258千円	過不足なく必要性に対応できているため。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
2-① 10	ひとり親家庭 ・女性相談 ・医療健康相談	ひとり親及び女性の、生活一般相談（医療・健康・家庭等）を138回行った。	ひとり親及び女性の悩みに対し、問題点の整理や適切なサービスを紹介する等により、こころの健康づくりに寄与することができたため。	① ・ 2 ・ 3	子育て 支援課
2-① 11	教育センター 運営事業 さわやか教育 相談「精神・ 身体に関する」	市内に在住又は在学する児童・生徒の教育上の諸問題に関する相談活動を通じて、一層の教育相談の充実を図ることを目的に実施した。（精神・身体に関する相談件数 14件）	児童・生徒の抱える教育上の諸問題の軽減や解決に向けて、一定の成果を上げているため。	1 ・ ② ・ 3	指導室 （教育 指導課）
2-① 12	教育センター 運営事業 スクールソー シャルワー カー相談事業 「精神・身体 に関する」	問題を抱える児童・生徒の状況を的確に把握し、当該児童・生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関とのネットワークを活用して連携したり、問題の改善及び軽減を図ることを目的に実施した。（精神・身体に関する相談件数 4件）	相談業務等において一定の成果を上げているため。今後は関係機関との連携強化などを通し、さらに成果をあげられるよう努力していく。	1 ・ ② ・ 3	指導室 （教育 指導課）
2-① 13	各図書館事業	自殺防止図書展の実施 中央図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書の展示・貸出を行った。H28.9.1～9.14/H29.3.1～3.15開催、展示冊数224冊、貸出冊数216冊	例年と同様に貸出が多かった。心と身体がほぐれるような資料を展示すると、いろいろな方が手にとってくださっていたため。心を癒す音楽のCDは問い合わせが多かった。	1 ・ ② ・ 3	中央 図書館
2-① 14		桜が丘図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書の展示・貸出を行った。H29.3.1～3.15開催、展示冊数60冊、貸出冊数27冊	広く関心を持っていただけるよう、軽めの本を含めて前年度より展示冊数を増やしたが、貸出実績はあまり伸びなかったため。	1 ・ ② ・ 3	中央 図書館
2-① 15		清原図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書の展示・貸出を行った。H29.3.1～3.15開催、展示冊数84冊、貸出冊数64冊	当事者周辺の人向けの図書展示を充実させ、ふだんこれらの分野を手にとらない利用者による貸出が多かったため。	1 ・ ② ・ 3	中央 図書館
2-① 16	成人保健事業 こころの健康 づくり事業	①こころの健康相談 年10回 延12人 ②こころの健康づくり講演会 年3回 延38人 ③心の体温計（セルフメンタルチェックシステム） 年間アクセス数 39,789件	健康相談は相談者数が昨年度よりは増加したため。こころの体温計は、アクセス数を増やす取り組みが必要である。講演会では、ゲートキーパー養成を行っている。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

2 次世代の健康・母子保健対策の推進【分類番号2-②】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年版>

① 乳幼児健診

H26年度

3～4か月児健康診査		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
受診率	有所見率	受診率	有所見率	受診率	有所見率
97.3%	29.1%	94.5%	20.4%	91.8%	25.5%

② 定期予防接種

H28年度

四種混合		ポリオ		二種混合	麻しん・風しん		日本脳炎			BCG
第1期 初回計	第1期 追加	第1期 初回計	第1期 追加	第2期	第1期	第2期	第1期 初回計	第1期 追加	第2期	
103.1%	96.6%	-	-	66.4%	100.8%	95.8%	107.7%	102.6%	64.8%	100.9%

Hb感染症		小児肺炎球菌感染症		ヒトパピローマウイルス感染症			水痘		B型肝炎		
初回計	追加	初回計	追加	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第1回	第2回	第3回
102.8%	94.6%	103.2%	93.3%	-	-	-	101.9%	93.5%	94.1%	81.9%	21.9%

ポリオ(第1期初回計、第1期追加)、ヒトパピローマウイルス感染症(第1回、第2回、第3回)は接種実績はあるが、対象者数が得られないため接種率が算出できない。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 1	国民健康保険 事業 出産育児 一時金事業	東大和市国民健康保険被保険者が出 産したときに世帯主に42万円を支給 した。件数：79件	3 当該被保険者からの申請に よりの確に事務を行っている ため。	1 ・ 2 ・ ③	保険 年金課
2-② 2	法外援護事業 ・次世代 育成支援	塾代支給等を実施した。 H28利用世帯：17世帯	2 利用率も高く、制度利用者 の進学率も100%となってい るため。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
2-② 3	生活保護費 支出・ 出産扶助	被保護世帯に対する、原則的に無料 で出産費用を提供した。 H28出産扶助費：0円	2 28年度の利用はなかった が、過不足なく必要性に対 応はできているため	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
2-② 4	乳幼児 医療費 助成事業	義務教育就学前の乳幼児を養育して いる方に、乳幼児に係る保険診療の 自己負担分の医療費を助成した。 対象乳幼児数(3月末現在)：5,000 人	3 乳幼児を養育する方の医療 に係る負担を軽減すること ができたため。	1 ・ 2 ・ ③	子育て 支援課
2-② 5	義務教育 就学時 医療費 助成事業	小・中学生の児童を養育している方 に、児童に係る保険診療の自己負担 分の医療費の一部を助成した。 対象児童数(3月末現在)：5,677人	3 小・中学生を養育する方の 医療に係る負担を軽減する ことができたため。	1 ・ 2 ・ ③	子育て 支援課
2-② 6	子ども家庭 支援センター 児童家庭相談	【相談件数】 新規273件、延べ9,560件 【出張相談(児童館等8か所)】 実施回数48回、相談件数67件 【専門相談】 巡回相談実施回数52回 心理相談件数 282件	3 子育てに関するさまざまな 相談に対応し、必要なサー ビスの提供及び関係機関と の調整等の他、出張相談体 制を継続して整備し、積極 的な働きかけにより子ども の安定した生活の確保や親 の育児支援の向上につな がったため。	① ・ ② ・ 3	子育て 支援課
2-② 7	子育てひろば ・子育て相談 ・子育て啓発	【子育てひろば(子育て啓発事 業)】 ※大和南/誠愛/玉川上水保育園 ・園内開放：94回/180回/187回 ・育児講座：10回/ 8回/ 8回 ・教室等 : 24回/ 68回/ 91回	3 市内3保育園に事業委託して、子育て園内開放や育児講座等を広域にわたり計画的に実施したことで、孤立しがちな子育て家庭の支援を図ることができたため。	① ・ ② ・ 3	子育て 支援課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 8	ひとり親家庭 等医療費 助成事業	ひとり親家庭またはそれに準ずる家 庭で、18歳に達した日の属する年度 の末日まで（一定の障害がある場合 は20歳未満）の児童を養育してい る方及びその児童に係る保険診療の自 己負担分を助成した。 対象世帯・対象者数（3月末現 在）：653世帯 1,422人	3 ひとり親家庭等の医療に係 る負担を軽減することがで きたため。	1 ・ 2 ・ ③	子育て 支援課
2-② 9	保育園 健康管理 状況	市内保育施設22園において 健康診断を年2回実施した。	3 嘱託医による診察及び相談 等を実施して児童の健康管 理に役立てたため。	1 ・ ② ・ 3	保育課
2-② 10	病児・病後児 保育事業	病中又は病後回復期の児童を保育す る事業であり、市内医療機関に委託 した。 実施人数：1,512人	3 昨年度よりも利用者が278 名増加し、順調に実施でき たため。	① ・ ② ・ 3	保育課
2-② 11	助産実施事業	保健上入院して分娩する必要がある にもかかわらず、経済的にその費用 を支払うことが困難な妊産婦に対 して助産施設（病院等）で助産を実 施し、その費用の助成を行った。 平成28年度実施人数 7人（内2人都立利用）	3 例年と事業内容に大きな変 更点はなく、順調に実施で きたため。	① ・ ② ・ 3	保育課
2-② 12	やまと あけぼの学園 ・健康管理 状況	小児科医診察：11回 整形外科医診察：11回 神経科医診察：11回 理学療法訓練：12回 作業療法訓練：22回 言語療法訓練：12回 音楽療法訓練：27回 心理相談観察等：36回 尿検査：1回 歯科健康診査：1回 発育測定：12回	3 嘱託医による診察と各種療 法士による訓練、心理相談 員による相談等を実施し、 児童の療育と健康管理に役 立てているため。	① ・ ② ・ 3	保育課
2-② 13	やまと あけぼの学園 ・遊びの会 ・外来相談	①遊びの会 たんぽぽグループ延べ参加幼児数： 284人 にこにこグループ延べ参加幼児数： 97人 ②外来相談延べ参加幼児数：35人	2 各グループとも月2～4回程 度の親子参加の開催で保護 者からの聞き取りにより健 康に関するアドバイス等が 行えたため。	① ・ 2 ・ 3	保育課
2-② 14	狭山保育園 ・健康管理 状況	（園児対象） ・発育測定12回／年 ・健康診断（0歳児）12回／年、（1 歳以上）2回／年 ・歯科健康診断1回／年 ・歯科衛生指導1回／年 ・視力検査（3歳以上児）1回／年	3 嘱託医による診察及び相談 等を実施して児童の健康管 理に役立てたため。	1 ・ ② ・ 3	保育課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモーション	担当課
2-② 15	児童館運営 事業 子育て支援 事業	各児童館において、乳幼児サークル や乳幼児を対象とした行事を実施した。 総事業数33事業 参加延べ人数6,925人	2 乳幼児の運動や保護者の心の ケアなど子育て支援に効 果をあげることができたた め。さらなる参加数の増と 内容を充実させたい。	1 ・ 2 ・ ③	青少年 課
2-② 16	就学指導事業 就学時 健康診断	小学校入学予定者の健康状況等を的 確に把握するため、内科・歯科・視 力・面談等を実施した。 受診者数746人	3 対象者のほとんどが受診 し、健康状況等の把握がで きたため。	1 ・ ② ・ 3	学校 教育課 (教育 総務 課)
2-② 17	健康管理 事業 学校保健 運営連絡会	学校医、学校歯科医、学校薬剤師、 学校関係者参加の「学校保健運営連 絡会」を開催した。プール指導の可 否基準の確認、学校医等による助 言、学校医による講演を行った。 参加者数43人	2 学校関係者と学校医等との 情報共有が図れたが、参加 者数が少なかったこと等か ら、今後の連絡会のあり方 について精査する必要がある ため。	1 ・ ② ・ 3	学校 教育課 (教育 総務 課)
2-② 18	健康管理 事業 小学校環境 衛生検査	児童及び教職員の健康の保持・増進 を図るため、学校薬剤師等による環 境衛生検査を実施した。 ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気 全校全項目 適	3 全校「適」となったが、再 検査を実施した項目・学校 があったため。	1 ・ ② ・ 3	学校 教育課 (教育 総務 課)
2-② 19	健康管理 事業 小学校定期 健康診断	児童の健康の保持・増進を図るた め、定期健康診断（身長・体重・視 力、歯の疾患、耳鼻咽喉疾患、結 核、心臓、側わん症等）を行った。 受診者数4,476人	3 児童の健康の保持・増進に つなげられるように、定期 健康診断の結果を文書等 によりお知らせしたため。	1 ・ ② ・ 3	学校 教育課 (教育 総務 課)
2-② 20	健康管理 事業 中学校環境 衛生検査	生徒及び教職員の健康の保持・増進 を図るため、学校薬剤師等による環 境衛生検査を実施した。 ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気環境 全校全項目 適	3 全校「適」となったが、再 検査を実施した項目・学校 があったため。	1 ・ ② ・ 3	学校 教育課 (教育 総務 課)
2-② 21	健康管理 事業 中学校定期 健康診断	生徒の健康の保持・増進を図るた め、定期健康診断（身長・体重・視 力、歯の疾患、耳鼻咽喉疾患、結 核、心臓、側わん症等）を行った。 受診者数2,054人	3 生徒の健康の保持・増進に つなげられるように、定期 健康診断の結果を文書等 によりお知らせしたため。	1 ・ ② ・ 3	学校 教育課 (教育 総務 課)
2-② 22	研究奨励事 業・公立学校 研究会補助金 研究部会 小学校体育 「運動の楽し さや喜びを味 わい、意欲的 に実践する力 を身につける 体育学習」	本事業は、課題となっている教育内 容について、校内研究活動を奨励 し、もって本市教育の充実に寄与す ることを目的に、当該研究活動の運 営に係る経費を補助した。	3 毎年度テーマを決め研究し ているところであり、その 成果は着実に本市教育の充 実に寄与しているため。 (小学校体育部会)	1 ・ 2 ・ ③	指導室 (教育 指導 課)

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 23	研究奨励事業・公立学校研究会補助金研究部会 小学校 学校保健 「児童の健やかな心身の発達をめざして～食育の充実と食物アレルギーのより良い対応について～」	本事業は、課題となっている教育内容について、校内研究活動を奨励し、もって本市教育の充実に寄与することを目的に、当該研究活動の運営に係る経費を補助した。	毎年度テーマを決め研究しているところであり、その成果は着実に本市教育の充実に寄与しているため。 (小学校学校保健部会)	1 2 ③	指導室 (教育指導課)
2-② 24	郷土博物館事業・プラネタリウム 特別投影：もうすぐママのプラネタリウム	妊婦にリラックスしてもらう目的で、プラネタリウムで音楽を流しながら、星空の話をした。28年度は2回実施し、5名の方が参加した。	対象が限られているため、参加者の人数に偏りがあるが目的は達成されているため。	1 ② 3	社会教育課
2-② 25	各公民館活動	蔵敷公民館事業「親子で一緒に楽しむヨガ時間」 全2回 延50名	親子で身体を動かすことができ、親子のコミュニケーションの機会ともなったため。	1 ② 3	中央公民館
2-② 26		狭山公民館事業 親子講座「ハッピータイム」 全6回 延参加者数：77名	6回講座のなかで、親子がベビー・チャイルドマッサージ、ゆる体操などを体験し、心と身体をリラックスさせる機会となったため。	1 ② 3	中央公民館
2-② 27	母子保健事業 健康教育 両親学級	妊婦とその配偶者を対象に、妊娠中の健康管理、出産、新生児の保育・栄養等についての講義やグループワークを行った。 父親が子育てに積極的に関わり、育児への意識を高めてもらうため、第5回目は土曜日に開催した。 6回（延35日）開催 参加人数実：129名 延345名	妊娠期からの健康教育に加え、仲間づくりや地域での子育てに関する情報提供を行ったため。 また、父親の育児参加の促進を図る目的に土曜日の学級開催を行ったため。	① 2 3	健康課
2-② 28	予防接種事業	対象年齢に達した子どもに各疾病の定期予防接種の勧奨を行った。 <平成28年度接種率> MR第1期 100.8% (755/749) MR第2期 95.8% (754/787) ※接種者数／新規勧奨発送数	MRについては、初回の勧奨の他、未接種者に再勧奨を行っており、他自治体と比較して接種率は高水準となっているため。	1 ② 3	健康課
2-② 29	母子保健事業 歯科相談 (再掲)	むし歯予防教室 年6回 延141名 歯科健康診査 年29回 保健指導 延382名 歯科予防処置 年32回 延209名 歯科卒業教室 年6回 延74名	予定数の利用があるため、今後も継続する。	① 2 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモーション	担当課
2-② 30	妊娠届出 母子健康 手帳交付	妊娠届出 729名 (再掲 11週以内 93.3%) 母子健康手帳交付 (再交付含む) 746件	2 11週以内の妊娠届出率は微増となっているため。今後もすみやかな妊娠届出を啓発していく。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 31	妊婦健康診査	健診受診票1~14回及び超音波検査、子宮頸がん検診を委託医療機関にて実施した。 受診者数延 8,801名 また、里帰り等受診票未使用者へ助成金を支給した。 支給人数 154名	3 妊婦健康診査公費負担については子育てハンドブックや市報で案内し、妊婦は必要な健診回数を受診しているため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 32	妊産婦 訪問指導 新生児 訪問事業	妊産婦・新生児訪問指導 妊婦 延3件 産婦 延640件 新生児 延604件	3 乳児家庭全戸訪問と併せ、4か月までの乳児家庭に対し、保健師・助産師による訪問指導を実施し、切れ目ない子育て支援に努めたため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 33	乳幼児 健康診査	3~4か月児健康診査 受診者数725名 (受診率96.1%) 1歳6か月児健康診査 受診者数 727名 (93.1%) 3歳児健康診査 受診者数 692名 (93.8%) 5歳児健康診査 受診者数 614名 (83.1)	2 高い受診率を維持できており、未受診者についても状況の把握に努めているため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 34	乳幼児 健康診査 継続事業	発達健康診査 年35回 受診者延 164名 経過観察健診 年12回 受診者延 63名 経過観察発達相談 年115回 相談者数延 385名	3 受診希望者の増加に伴い、定員枠を増やし対応しており、就学までの継続支援を地区担当保健師によりきめ細かに行っているため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 35	母子保健事業 健康教育 育児学級	乳児期の育児・離乳食に関する母親の不安・悩みの解決と育児の仲間作りの場として開催した。 対象者：1歳未満の児を持つ育児不安を抱える母親等 開催回数：8回 参加者数： 実23名 延37名	2 不安や悩みを抱える母親へグループワーク形式による学級を開催し、仲間づくりの場となったため。また、登録数の約半数の参加であり、未参加者への支援として、地区担当保健師の個別対応を実施しているため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 36	母子保健事業 健康教育 職員派遣	児童館や自治会、育児サークル等に市の保健師等を講師として派遣した。 派遣団体数：16 保健栄養関連：延2回 参加者17名 歯科関連：延14回 参加者713名	2 依頼に基づき、団体等へ保健師・栄養士・歯科衛生士等の専門職を派遣し育児や母子保健に関する健康教育を実施したため。歯科保健の依頼が増えており、職員体制の調整は必要である。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-② 37	母子保健事業 個別相談 すこやか広場	乳幼児期の健康・栄養・発育発達・ 疾病等の知識の習得と育児の仲間作 りの場として開催し各専門職による 個別相談を行った。 すこやか広場開催数：32回 保健相談 48件 栄養相談 26件 歯科相談 1件	2 一般相談のほか、未熟児や 高齢初産の母親、多胎児な どの相談会を開催し、 また、地域資源のチラシを 作成・配布し情報提供を行 い、市民センターで実施し ていた本事業を保健セン ター開催に集約したため。	① ・ 2 ・ 3	健康課
2-② 38	母子保健事業 特定不妊 治療費助成	高額な不妊治療を受けた者の医療費 の負担軽減を図り、少子化対策に寄 与することを目的とし助成した。 助成件数：67件	3 申請件数に対し助成を実施 できたため。	1 ・ 3 ② ・	健康課
2-② 39	母子保健事業 未熟児 養育医療 給付	医師が入院養育の必要と認めた未熟 児に対し、医療の給付を行った。 申請件数：20件 給付件数（延）：63件	2 未熟児を養育する保護者の 負担軽減を行ったため。今 後は手続きの更なる簡素化 を図る必要がある。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-② 40	子育て 応援事業	育児パッケージ 申込者数 601名 配布者数 594名	1 他課との連携により、事業 の周知に努め、全ての申込 み者に対し、パッケージ配 布が実施できたため。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-② 41		子育て応援アプリの作成 ダウンロード数1,303件	2 スマートフォン用アプリ 「東大和スタイル」を配信 したため。 さらに内容を充実させてい く必要がある。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

3 高齢者の健康【分類2-③】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年版>

① 要介護等認定者

H28/3/31現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護計	認定者総数							
789	22.4%	556	15.8%	409	11.6%	366	10.4%	308	8.8%	2,428	69.1%	3,516	100.0%

要支援1	要支援2	要支援計			
573	16.3%	515	14.6%	1,088	30.9%

② 定期予防接種

H28年度

インフルエンザ		高齢者の肺炎球菌感染症	
65歳以上	60～65歳未満	65歳	60～65歳未満
51.3%	43.2%	38.4%	10.0%

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 1	後期高齢者 医療事業 健康診査	東京都後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、市内外医療機関で健康診査を実施した。受診者数：6,367名	3 受診券発送者数9,956名に対し、64.0%の受診率となっており、前年度受診率63.1%を上回っているため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
2-③ 2	後期高齢者 医療事業 保健衛生 諸事業	被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部（上限1件23,000円）を助成した。申請者：136件	2 前年度の申請件数131件と概ね同じであったため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
2-③ 3	介護予防・ 生きがい活動 支援事業 ・生きがい デイサービス	介護保険法に規定する要介護又は要支援に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に、高齢者在宅サービスセンターにおいて趣味等の生きがい活動、日常生活動作訓練、相談、養護、食事等のサービスを提供し、当該高齢者の自立生活の助長、社会的孤独感の解消並びに家族等の身体的、精神的な負担の軽減を図った。利用者数：16人	2 新規利用者は2人あったが、利用者の一部は、高齢による身体機能の低下で介護保険サービス（デイサービス）に移行する方がおり、昨年度比2人減となったため。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 4	高齢者 日常生活 支援事業 ・寝具の乾燥 及び水洗い	身体上の障害のため寝具の自然乾燥等が困難な65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に、寝具の乾燥及び水洗いを実施し、衛生と健康の保持を図った。利用者数：乾燥27人・水洗い19人	2 新規利用者がなく、昨年度比で乾燥3人、水洗い1人減となったため。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 5	高齢者安心・ 見守り食事 サービス	平成27年度までは、東大和市社会福祉協議会が実施する、身体的、精神的機能低下等により買物・炊事が困難と思われるおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者世帯等に、年末年始を除く毎日、昼食を調理業者が自宅へ配送する「高齢者食事サービス事業」に対し、円滑な運営を図るための補助を実施してきた。平成28年度からは、市が直接、調理業者に委託を行い、事業実施を行った。利用者数58人	3 昼食の宅配を通じて、高齢者の栄養改善を図り、健康保持に寄与することができたため。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 6	高齢者 日常生活 用具の給付	介護保険法に規定する要介護又は要 支援に該当しないと認められる65歳 以上の高齢者で、生活機能が低下し たと認められる者に、自立を支援す るための日常生活用具を給付した。 給付件数：0件	3 相談はあったが結果として 要介護認定等に該当し、介 護保険サービスの給付を受 けることができたため。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 7	高齢者 住宅改修の 給付	65歳以上の高齢者に、住宅改修予防 給付又は住宅設備改修給付を行い、 在宅の高齢者の住宅内における転倒 予防、動作の容易性の確保、行動範 囲の拡大の確保、介護者の介護の軽 減等を図った。 住宅改修予防給付：2件 住宅設備改修給付：12件	3 住宅改修予防給付は昨年度 比1件減、住宅設備改修給 付は昨年度比1件増とな り、必要な方に給付できた ため。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 8	老人性 白内障 眼鏡等 購入費助成	老人性白内障治療のための手術を受 けた65歳以上の高齢者に対し、手術 後に使用する特殊眼鏡等の購入に要 した費用相当額（補助眼鏡20,000円 以内、特殊眼鏡40,000円以内、コン タクトレンズ25,000円以内）を助成 し、高齢者の経済的負担の軽減と福 祉の増進を図った。 助成件数：補助眼鏡5件、 特殊眼鏡0件、コンタクトレンズ0件	3 補助眼鏡の助成に関して は、平成27年度をもって、 廃止になり、平成28年度は 経過措置の方のみ対象。対 象者に助成を行うことで高 齢者の健康保持に寄与す ることができたため。	1 ・ ② ・ 3	高齢 介護課
2-③ 9	認知症 サポーター 養成講座	認知症について正しい知識を持ち、 認知症の人やその家族を応援し、誰 もが暮らしやすい地域をつかってい くボランティアを要請するため認知 症サポーター養成講座を開催した。 定期開催 4回 団体向け開催 6団体6回 市職員向け開催 1回	3 平成28年度の受講者数 236人 平成28年度末まで受講者数 延3,900人 第6期介護保険事業計画で は3,000人を目標としてい たが、すでに達成したた め。	① ・ 2 ・ 3	高齢 介護課
2-③ 10	老人クラブ 育成事業	老人クラブ及び老人クラブ連合会に 対して、補助金を交付することで高 齢者の福祉の増進を図った。 補助金交付クラブ数：連合会1団 体、老人クラブ16団体	3 会員数は退会者と同程度の 新規加入者があったため横 ばいであった。各クラブが 事業計画に従い、活動を実 施するにあたり、助言等 を行ったため。	① ・ 2 ・ 3	高齢 介護課
2-③ 11	高齢者 見守り ぼっくす事業	高齢者の在宅生活の安心を確保する ため、高齢者の見守り支援を専門と した相談窓口として市内3カ所に設 置している。 高齢者からの相談受付や生活状況の 把握、関係機関と連携しながらネッ トワークを構築し、支援を行った。 見守り対象者数：758(3か所合計) 民間緊急通報システム設置世帯数： 139世帯（3か所合計）	3 相談員が地域の高齢者宅を戸 別訪問し、地域での見守り を必要とする高齢者に対し、関 係機関と連携しながら支援を 行った。また、民間緊急通報 システムの設置相談に応じ るとともに、高齢者やその家 族、地域住民等からの相談に 応じ、必要な支援を行った。 このため対象者数、民間緊急 通報システム設置世帯数とも に増加し、高齢者の在宅生活 の安心を確保したため。	1 ・ 2 ・ ③	高齢 介護課
2-③ 12	介護保険 事業 二次予防事業	二次予防事業対象者に対し、筋力 向上トレーニング（1期28回・年9 期）、転倒予防教室（1期13回・年3 期）、お口の健康と栄養教室（1期 10回・年3期）、脳の若返り教室（1 期15回・年3期）を実施した。	3 教室参加者の教室前後の 効果測定において、どの教 室も機能向上が見られた。 また、教室に参加すること で、社会参加の促進にも繋 がったため。	1 ・ 2 ・ ③	高齢 介護課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 13	介護保険 事業 一次予防事業 介護予防 普及啓発	一般高齢者等を対象に、はつらつ 倶楽部（1期8回・年2期）、二次予 防事業の終了者（平成27年度）への フォローアップ、東大和元気ゆうゆ 体操in市役所中庭等を実施した。	3 はつらつ倶楽部では、参加 者に対し介護予防の必要性 について、具体的な方法も 含めて普及することができ た。また、二次予防事業終 了者へのフォローアップで は、介護予防の取り組みを 継続できるよう、支援を 行ったため。 平成27年7月以降、本庁舎 耐震工事のため中止となっ ていた、「東大和元気ゆう ゆう体操in市役所中庭」 を、平成28年10月から再 開。毎回70人を超える人の 参加がある。	1 ・ 2 ・ ③	高齢 介護課
2-③ 14	介護保険 事業 一次予防事業 地域介護 予防活動支援	一般高齢者等を対象に、東大和元気 ゆうゆう体操普及推進員養成講座を 実施した。また、介護予防リーダー 及び体操普及推進員に対し、フォ ローアップを実施した。	3 体操普及推進員養成講座を 実施し、新しく20人を養成 した。介護予防リーダー連 絡会を3回、体操普及推進 員連絡会を4回実施し、活 動の支援を行ったため。	① ・ 2 ・ 3	高齢 介護課
2-③ 15	介護保険 事業 一次予防事業 介護支援 いきいき 活動事業	介護予防事業の一環として、健康 で生きがいのある暮らしができるこ とを目的として高齢者の皆さんが介 護支援活動を通じて地域貢献や社会 参加をすることができた。	3 登録者数97人に対し、実績 が86人であったため。	① ・ 2 ・ 3	高齢 介護課
2-③ 16	老人福祉館 運営事業・ 風呂の利用	高齢介護課、介護予防事業の開催場 所の提供をした。	2 高齢介護課の年間計画によ る依頼を概ね受託したた め。	① ・ 2 ・ 3	市民 生活課 （地域振 興課）
2-③ 17	各公民館活動	狭山公民館事業 ・講座、教室等 高齢者「わくわく教室」全7回 延 参加者数：99名	2 7回講座のなかで、おおむ ね60歳以上の方が自彊術体 操やパラリンピックの正式 種目であるボッチャなどを 体験し、生きがいづくりや 仲間づくりの機会となった ため。	1 ・ ② ・ 3	中央 公民館
2-③ 18		上北台公民館 「ほのぼの事業 ボッチャを体験してみよう！」 全 1回 38名	3 小学生と高齢者が交流しな がら、パラリンピックの種 目であるボッチャを体験し たため。	1 ・ ② ・ 3	中央 公民館
2-③ 19		上北台公民館「やりがい講座 健康 マージャンで脳トレ！」 全5回 延140名	3 認知症予防にもなると言わ れている健康麻雀を講座で 実施したため。	1 ・ ② ・ 3	中央 公民館
2-③ 20		中央公民館事業 新堀地区会館で行 う「第5回シニアクラスで学ぶ！楽 しむ！」	3 概ね60歳以上の方が認知証 予防のアロマセラピーや、 音楽を聴きながら運動し て、健康づくりを意識でき たため。	1 ・ ② ・ 3	中央 公民館

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-③ 21	予防接種 事業	対象年齢に達した高齢者に定期予防 接種の勧奨を行った。 <平成28年度接種率> インフルエンザ 51.3%(11,504/22,410) 高齢者の肺炎球菌 38.2%(1,827/4,777) ※接種率(接種者数/勧奨発送数)	2 インフルエンザについて は、全対象者にハガキの勧 奨を行っており、他自治体 と比較して接種率は高水準 となっているため。 2 高齢者の肺炎球菌について は、経過措置期間であるた め、勧奨発送数に対象とな らない既接種者が含まれて いる。このため、正確な接 種率の算出は困難であるた め、参考値となる。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-③ 22	歯科医療 連携事業 (再掲)	訪問歯科診療を推進した。 新規相談件数 34件	2 継続的に訪問診療は続けて おり、各介護施設等に積極 的にPRし、新規相談件数 が前年を上回ったため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

4 社会環境整備【分類番号2-④】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-④ 1	シルバー人材 センター運 営・ 補助事業	高齢者の就業機会の拡大 ① 事業費の補助 27,391,145円 公益目的事業会計に係る人件費等 の補助を行った。 ② その他の経費の補助 10,254,855円 法人会計管理運営に要する人件費 等の補助を行った。	2 平成28年度から派遣事業 も始まったことにより、高 齢者の就業機会がより拡大 し、会員増強が図れたた め。	① ・ ② ・ 3	福祉 推進課
2-④ 2	社会福祉 協議会運営・ 補助事業 ・ふれあいの まちづくり 事業	地域住民が福祉に理解と関心をよ せ、住民相互が助け合い、安心して 暮らせる福祉のまちづくりを目指し た。 ① 人件費の補助 39,410,095円 ② ふれあいのまちづくり事業費補 助 7,475,870円 ③ 福祉祭補助 464,000円 ④ 地域福祉権利擁護事業補助 2,121,657円 それぞれの補助を行った。	2 地域住民が福祉に理解と 関心をよせ、住民相互が助 け合い、安心して暮らせる 福祉のまちづくりを目指す ための補助が行えたため。	① ・ 2 ・ 3	福祉 推進課
2-④ 3	包括的・ 継続的ケア マネジメント 支援事業 医療介護 連携事業	在宅医療・介護連携推進のための地 域における多職種連携研修会を2回 実施した。	3 計2回の研修会で延べ202名 の多職種の方々に出席者い ただいた。グループワーク などを取り入れ、多職種間 での連携推進と顔の見える 関係づくりに貢献したた め。	1 ・ 2 ・ ③	高齢 介護課
2-④ 4 新規	自治会等の活 動支援	(1) 自治会の活動、集会施設の維持管理 における経費の一部に補助金を交付し た。 3,856,494円（補助決定団体：69自治 会、3自治会集会所管理組織） (2) 自治会長等会議を開催した。平成 28年5月13日（金）参加：41自治会、1 自治会集会所管理組織 (3) マンション管理組合理事長会議を開 催した。平成28年5月27日（金）参 加：8団体 (4) 桜が丘地区マンション管理組合理事 長会議を開催した。平成29年1月27日 （金）参加：5団体 (5) 自治会活動の一部に係る市民セン ター、集会所等の先行予約を行い、団体 の負担軽減を図った。 (6) 一般財団法人自治総合センターのコ ミュニティ助成事業活用を促進を図っ た。 （助成団体数 8自治会・助成対象事 業総額 1,873,012円） (7) 自治会活性化検討委員会を開催し た。 (8) 自治会参加レポートの作成及びホー ムページに掲載した。 (9) 東京都実施の「地域の底力再生事業 助成」の周知を図った。 (10) 自治会運営のマニュアル「自治会の 手引き」を配布した。	2 自治会等へ様々な支援や事 業を実施し、既存の自治会 等の発展や、個人の生きが いづくり、社会参加のきっ かけ、そして、地域住民同 士が安心して暮らせるまち づくりにつながったため。	① ・ ② ・ 3	市民 生活課 （地域振 興課）

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
2-④ 5	消費者保護 対策事業 ・消費者相談 ：保健衛生品 保健福祉 サービス	消費者相談事業において、313件 中、保健衛生品12件、保健・福祉 サービス7件の相談に対応した。	2 消費生活相談員を配置し、 消費生活における市民の相 談に対応することができた ため。	① ・ ② ・ 3	市民 生活課 (地域振 興課)
2-④ 6 新規	東大和ボラン ティア・市民 活動センター の運営補助	東大和市社会福祉協議会が行う東大 和ボランティア・市民活動センター 事業に対し、運営に係る経費の補助 を開始することによって、その運営 を安定かつ円滑にし、事業の発展に 寄与した。 補助金確定額 5,504,037円	2 運営への補助金交付の開始 により、市内の地域活動や ボランティア活動の発展、 地域のつながりや社会参加 の推進のための拠点づくり の援助ができたため。	① ・ ② ・ 3	市民 生活課 (地域 振興課)
2-④ 7	狭山緑地 管理事業 ・アスレチック コース	心身の健康維持向上及び健康育成を 図るため、「安らぎの場」「憩いの 場」としての環境を確保し、その維 持管理に努めた。	2 年間来場者数 31,245人(昨年度よ り970人減)の利用が あったため。	1 ・ 2 ・ ③	環境課
2-④ 8	こども広場 管理事業	心身の健康維持向上及び健全育成を 図るため、安全で利用しやすい環境 を確保し、その維持管理に努めた。	2 清掃3回/年、除草2回/ 年、便所清掃2回/週を 実施したため。	1 ・ 2 ・ ③	環境課
2-④ 9	社会教育 関係団体 育成事業 ・社会教育 関係団体 連合体補助金 東大和市 体育協会	体育協会、文化協会などの市内7つ の社会教育関係団体連合体の事業に 対し補助金を交付し、その活動を支 援した。	2 各団体活動の振興をと おして健康増進への関与を 図っているため。	① ・ 2 ・ 3	社会 教育課
2-④ 10	社会教育 関係団体 育成事業 ・東大和市民 文化祭	市民の文化活動の振興と市民相互の 交流を図ることを目的に、市・教育 委員会・文化協会の三者による共催 で実施した。	2 様々な年代の市民の文化活 動の振興をとおして健康増 進への関与を図っているた め。	① ・ 2 ・ 3	社会 教育課
2-④ 11	健康づくり 推進会議	市民の健康の維持・増進を図ること を目的として、東大和市健康づくり 推進会議を開催した。	2 年6回開催し、健康のつど い等について会議したた め。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-④ 12	健康のつどい	本事業は、保健事業の普及啓発を図 り、もって市民の健康の保持増進、 健康意識の高揚に寄与することを 目的として開催した。 参加数：809名	2 平成28年度は、保健セン ターで福祉祭と同日に開催 し、従来の形態で実施する ことにより、多様な内容で 実施できたため。	1 ・ ② ・ 3	健康課
2-④ 13	休日急患 診療所 運営事業	休日における急患の診療等の態勢を 充実し、市民の健康の保持及び増進 に寄与するため、東大和市休日急患 診療所の管理運営を実施した。 1,808件	2 休日、祝日、年末年始に開 所し、また、感染症流行時 には人員を増やし、市民の 急患に対応できたため。	1 ・ ② ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

1 がん対策の推進【分類番号3-①】

※評価指標関連基本データ<北多摩西部保健医療圏保健医療福祉データ集平成28年版>

がん検診等受診率

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	H26年度
東大和市	1.6%	2.2%	7.2%	13.4%	17.0%	

※評価の基準の表記は、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

1・2・3のどれかに○、または1と2の二つに○がつきます。

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモ ーション	担当課
		3：順調 2：概ね順調 1：着手 0：未着手			
3-① 1	がん検診 事業	(検診名 受診者数 精検受診率) 胃がん検診 606人 88.7% 肺がん検診 772人 100.0% 子宮がん検診 1,052人 87.5% 乳がん検診 1,001人 89.0% 大腸がん検診 1,445人 85.5% 前立腺がん検診 490人 81.8%	2 健康カレンダーの全戸配布等により市民への周知や勧奨の工夫を行っているため。未受診者もまだ多くいることから、個別勧奨等の取組みを検討したい。	① ・ 2 ・ 3	健康課
3-① 2	健康づくり 講演会	講演会を開催した。 ～もっと知ってほしい。「乳がん」のこと～ 参加者数 17人	2 健康の保持増進を図る目的で、その時期の話題になるテーマと専門医師を選定し、より多くの市民が参加するよう工夫し開催したため。	① ・ 2 ・ 3	健康課

※精検受診率(精密検査受診率)：要精密検査者数から精密検査未受診者数及び精密検査未把握者数を除いた割合

5. 平成28年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進【分類3-②】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
3-② 1	国民健康 保険事業 特定健康 診査事業	40歳から74歳までの加入者を対象として、市内外医療機関で特定健康診査を実施した。その結果により必要のある方に対して特定保健指導を実施した。 特定健康診査受診者数：7,974人、 特定保健指導利用者数：92人	2 受診券発送者数15,753名に対し、50.6%の受診率となっており、前年度受診率51.4%に比べやや低かったため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
3-② 2	国民健康 保険事業 保健衛生 諸事業	レセプトデータ・健診データを活用した医療費分析を行い、その結果から以下の保健事業を実施した。①糖尿病等重症化予防プログラム。プログラム終了者数：5名(2年目以降のフォロー31名)②保健師等による家庭訪問相談。訪問者数：21名③受診勧奨通知の送付。送付件数：159件④ジェネリック医薬品利用促進通知の送付。送付件数：6,310件。また、満40歳以上の被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部(上限1件23,000円)を助成した。申請者：462件	2 平成25年度に当事業を開始したが、年々事業への参加者数が減ってきてしまっているため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
3-② 3	国民健康 保険事業 健康づくり 相談	東京都国民健康保険団体連合会の協力を得て、健康づくり相談(骨密度・血圧・血管年齢測定、健康づくり相談等)を実施した。1回目：110人、2回目：68人	3 健康づくり相談への市民の関心が高く、参加者が増加している。定員を超えてしまうケースもあるため。	1 ・ ② ・ 3	保険 年金課
3-② 4 新規	被保護者健康 管理指導事業	無保険者等健康診査の受診結果から、要指導等の者に対して、業務委託の看護師等が定期的に健康管理指導を実施した。 H28指導実施実人数：38人	2 対象者の継続的な参加率も高く、被保護者の健康管理意識の向上及び将来的な重症化の予防が見込めるため。	1 ・ ② ・ 3	生活 福祉課
3-② 5	都市計画 事務事業 ・ウォーキン グマップの 印刷配布	ウォーキングマップは、市民等が市の自然や文化財に親しみながら街の散策を行えるよう印刷、配布しているもので、保険年金課及び健康課が実施する特定保健指導対象者への同封物として、同課の依頼に基づき提供した。 提供数：4,960部	3 保険年金課及び健康課が特定保健指導の対象者に利用券を送付する際の身近な健康づくりの啓発物の一つとして活用されることにより、市の健康増進事業に寄与することができたため。	① ・ 2 ・ 3	都市 計画課
3-② 6	成人保健 事業 健康診査	若年層健康診査(20～39歳) 受診者数 350人 無保険者等健康診査(40歳以上) 受診者数 444人	2 若年層・無保険者健診共に受診者が定員を下回っており、周知方法や個別受診勧奨などの検討も必要であるため。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
3-② 7	成人保健 事業 検診、検査	【検診】 肝炎ウイルス検診 1,473人 骨粗鬆症検診 134人 歯周疾患検診 299人 胃がんリスク検査 341人	2 骨粗鬆症検診や歯周疾患検診の受診者数が定員を下回っており、また、節目年齢検診であるため、対象者への受診勧奨を工夫する必要がある。	① ・ 2 ・ 3	健康課
3-② 8	糖尿病 予防教室	②糖尿病予防教室 年2回 延46人	1 新規参加者や若年層の参加が少ないため。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

3 循環器疾患の対策【分類3-③】

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
3-③ 1	生活習慣病 予防教室 (再掲)	①生活習慣病予防教室 年2回 延28人	1 参加者が全体的に少なく、 新規の参加者・若年層参加 者への周知等の工夫の必要 があるため。	① ・ 2 ・ 3	健康課

5. 平成28年度実施状況調査結果

第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策【分類番号3-④】

※「第1節 生活習慣の改善と推進 4-2 喫煙」の再掲

分類 整理番号	事業名	実施事業内容	評価と理由	ヘルス プロモー ション	担当課
3-④ 1	妊娠育児 期間及び 乳幼児学童 へのたばこ 対策 (再掲)	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の喫煙割合 吸う 1.4%	2 アンケートを用いた状況把握 を行い、たばこの健康へ 及ぼす影響について本人及 び家族全体を見据えた普及 啓発を行っているため。 妊婦の喫煙率は減少傾向で ある。	① ・ 2 ・ 3	健康課
3-④ 2	建物内に おける禁煙 (再掲)	施設等における禁煙の実施 禁煙の表示の実施	3 市の行政建物内における禁 煙を全施設で実施できた。 (分煙を含む)	1 ・ ② ・ 3	施設管 理 各課

東大和市健康増進計画

平成28年度実施状況報告書

平成30年2月

発行 東大和市福祉部健康課
〒207-8585

東大和市中心3丁目930番地

電話：042-563-2111（代表）

印刷 東大和市総務部文書課印刷室

東大和市健康増進計画

基本理念

生涯にわたって

健康でいきいきと

豊かな人生を

おくれるまち

東大和

